

ニュースレター定期配信のお知らせ

平素より医局関連教務、病診連携等に対し格別なご配慮を賜り誠にありがとうございます。
新型コロナウイルスがまだ落ち着きませんが、皆様いかがお過ごしでしょうか。秋も近づいてまいりましたので、浜松医大脳神経内科ニュースレターのVol.2を発信させていただきます。

中村友彦

光先端医学教育研究センター教授の長島先生に 火曜日の外来を担当していただくこととなりました

7月1日付けで浜松医大 光先端医学教育研究センターに赴任しました長島 優です。
附属病院では脳神経内科教授の中村友彦先生のご指導のもと、神経内科医として診療に参加させて頂いております。

私は東京大学医学部を2003年に卒業し、以来、東大病院神経内科で臨床神経内科医として研鑽を積んでまいりました。神経変性疾患の診療が得意です。研究面では、大学院在学中に神経変性疾患や遺伝性代謝疾患の診断に有用な分光顕微鏡技術の開発に携わったのを手始めに、アルツハイマー病早期診断のための高感度バイオマーカーセンサーの開発、パーキンソン病のすくみ足を改善するためのウェアラブル・スマートグラスの開発など、主に光技術を応用して診断や治療を行う新しい医療技術の開発に携わってまいりました。

現在、すくみ足症状の強いパーキンソン病や、発症早期のアルツハイマー病の患者さんを対象にした新たな臨床研究の立ち上げを予定しておりますので、お心当たりの患者さんがいらっしゃいましたらご紹介を頂ければ幸いです。

今後は、浜松医大脳神経内科が地域の医療の中で今まで以上にお役に立てるよう、努力してゆきたいと考えております。そのためには地域の病院・クリニックの先生方との有機的な連携を進めることが大切だと思います。診断や治療でお困りの神経内科疾患の患者さんがいらっしゃいましたら、ぜひともご紹介くださいますようお願い致します。



浜松医科大学医学部附属病院脳神経内科 長島 優

傍腫瘍性神経症候群関連抗体の 測定受付を開始します

先日Euroimmun社の傍腫瘍性神経症候群関連抗体の測定キットを購入いたしました。当院でも使用して参りますが、近隣病院の検体の測定も受付いたします。

検体送料などをご負担いただきますが、測定料金はかかりません。ただし、測定にある程度の手間がかかるため、学会発表や症例報告を前提とした症例などに限定し、リモートかメールでのプレゼンテーションをお願いする形になるかと思っております。

測定可能抗体：

Amphiphysin, CV2, PNMA2(Ma2/Ta), Ri, Yo, Hu, recoverin, SOX1, titin, zic4, GAD65, Tr(DNER)

検査をご検討の患者さんがいらっしゃいましたら、まずは下記まで連絡をお願いいたします。

連絡先：若月理江(r-wk@hama-med.ac.jp)

大学のホームページが 更新されます

当科のホームページが長い間ほとんど更新されておられませんでしたが、この度、第一内科全体のホームページ更新に合わせて更新され、写真も新しくなりますので、是非ともご覧ください（近日更新予定）

関連病院協議会開催予定です

来年度の脳神経内科入局予定者は現在1名のみです。まだ迷っている方も数名おられますが、静岡県の脳神経内科医師の需要を満たすにはもっと多くの入局者が必要です。

どのようにしたら入局者を増やしていけるかを一度WEB会議を開催して、皆様（関連病院の部長先生中心）のご意見を募りたいと思っておりますので、よろしくごお願いいたします。日程等は近日中に追って連絡いたします。

浜松医大関連以外の方で配信希望の先生がいらっしゃいましたらご連絡ください。

ご質問・ご意見もよろしくごお願いいたします。 脳神経内科 武内智康 bunai.t@hama-med.ac.jp